

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	日常診療における進行胃癌の幽門側胃切除術腹腔鏡アプローチの有用性の検討
	研究対象者	2015年1月～2020年12月の期間に、神奈川県立がんセンターで進行胃癌に対して根治的胃切除術を受けた pStage II/III の進行胃癌患者 202 例を対象とする
	研究目的	進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術は開腹幽門側胃切除術に対して長期生存・術後短期成績で非劣性であることが JLSSG0901 試験で証明され、進行胃癌に対しても腹腔鏡アプローチが標準治療の選択肢となった。 当院での腹腔鏡下幽門側胃切除術の術後短期・長期成績について、開腹幽門側胃切除術と比較・検討し、日常診療における その有用性を検討する。
	研究方法	術前の血液検査結果、術前ステージ、手術内容、病理診断、臨床経過等の情報を用い、腹腔鏡群と開腹群の全生存期間 (OS) および無再発生存期間 (RFS), 術後合併症等について比較する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。
	研究期間	西暦 2025 年 1 月 20 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[] 総長が研究実施を許可した日 [X] 西暦2025年7月頃 (研究の進捗によって前後いたします)
	利用する試料・情報の項目 (チェック [X]が入った項目を利用します)	[] 試料:
[X] 情報:		[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、 [X] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、 [] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 胃食道外科 田邊美恵
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター消化器外科 胃食道外科 田邊美恵 045(520)2222(代) 利用停止のお申し出は 2024 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	